

# 組合共同 事業の紹介

[共同検査]

## ～放射能測定装置を

## 導入して、安心・安全な

## 製品を消費者に～



放射能検出器



検出器内部

組合名	山形県醤油味噌工業協同組合
住所	〒990-0832 山形市城西町1-6-15
電話番号	023-645-1531
FAX番号	023-646-1532
設立	昭和22年7月
出資金	32,684万円
組合員	39名
主な業種	醤油、味噌製造業
ホームページ	<a href="http://www.chuokai-yamagata.or.jp/s-miso/info/index.html">http://www.chuokai-yamagata.or.jp/s-miso/info/index.html</a>

### 背景と目的

組合員工場からの依頼を受けて、製品の品質管理のための分析やJASの登録格付機関の財団法人日本醤油検査協会山形県検査所（昭和38年登録）として、県内のJAS認定工場で生産される全ての醤油の格付け検査を組合として行っていた。

一昨年、3月11日の東日本大震災の津波による福島第一原子力発電所の事故以来、納入先の量販店や学校給食関係者等から、食品に含まれる放射能が規制値以内かどうかについての品質確認を強く求められていた。

組合として、これらに対応するため、このたび分解能力に優れ、低いレベルの放射能にも感度良く測定できるゲルマニウム半導体検出器を導入、一括検査体制が整った。

### 事業・活動の内容

組合事業として、醤油、味噌の共同販売、原料・資材の共同購入、斡旋、製品の品質管理分析、「醤油味噌品評会」を開催している。

また、醤油、味噌の仕込み試験や組合員企業との新製品開発、技術相談、技術指導にも取り組んでいる。

また、青年会活動として、情報交換、研修会、調査研究を実施しており、需要拡大事業では、山形味噌のPRのため、山形市の「初市」に出店、青年会特製の味噌を販売、毎年評判がよくすぐに完売する。

### 効果

このたびの導入は、組合員が使用する米、大豆の品質や安全性がデータとして表示されることにより、消費者や納入先に対して信頼を得るばかりでなく、同様に県産の原料を使用している豆腐や納豆製造業者にもその安全性が認識され、地産地消が図られ販売の拡大につながるのではないかと期待している。

放射能物質検査は、組合事業として行うので、1検体当たりの検査費用は低く抑えられている。